

令和5年10月6日(金)

# TEAM 戸上

千曲市立戸倉上山田中学校だより NO. 8

文責 久保田隆

昭



美術部制作「ステージバック」

全校生徒の  
入場行進



各学年代表者による  
意見文発表



総合的な学習  
の時間  
学年発表



つばさの広場「ダンスコンテスト」



閉祭式  
生徒会役員  
のみなさん

## BEST MEMORY ～全校が繋がりが合い、記憶に残る2日間にしよう～

### 閉祭式での中野校長先生のお話

全校が繋がりが合ったつばさ祭。第59回つばさ祭が終わろうとしています。皆さんの中にどんなBEST MEMORYが刻まれたでしょうか。入場行進、ポスター、ステージバック、そして全校で創り上げたドットアートの開祭式から始まったつばさ祭。

意見発表会では、3名の発表を聞いて、これからの社会をしっかりと見つめてくれていると感じました。総合的な学習は、「地域のお宝発見」に取り組んだ1年生。ゼミや職場体験を通して「地域の人々に生き方を学んだ2年生。障害に向き合い「共に生きる」に取り組んだ3年生。各学年で探究的な学びが展開されていることを感じました。また、科学研究部は実験を通して原理に迫った発表をしてくれました。

ダンスコンテスト。学年が上がるにしたがって、切れが増し、息が合っていくのが分かりました。それぞれのクラスの特徴が出ましたね。

音楽会。すべてのクラスが素晴らしかったのですが、思いのこもった3年生の合唱。涙が出そうになりました。1・2年生の目指す姿でした。それぞれの学級学年を支えてくれたのは、伴奏者のみなさんです。緊張感でいっぱいだったのではないのでしょうか。クラスに戻ったら「ありがとう」を伝えてください。

合唱部、吹奏楽部の皆さん。一つの一つの音を大切に歌い上げ、演奏してくれました。楽しさもあり、まさにテーマの繋がりが合う姿が印象的でした。有志の皆さん。やはり戸倉上山田中学校は、多くのタレント、才能があふれる人たちの宝の宝庫ですね。

全校生徒のみなさん。つばさ祭当日のみならず、つばさ祭を創り上げる過程において、人はつながって生きていること、人は一人では生きていけないこと、創り上げる先にBEST MEMORYが待っていることを私に教えてくれました。

さいごに生徒会役員、3年生。皆さんが引っ張ってくれたおかげで、今日のつばさ祭がありました。本当にありがとう。心から感謝します。

たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

2日目の混雑を心配し急遽H&Sにて連絡いたしました。お声がけする前に場所を移動してくださる方々が多く、スムーズに進行することができました。また、片付けの際には、ギャラリーの椅子の後片付けを手伝ってくださる方々もいらっしゃいました。お心遣いに感謝申し上げます。ありがとうございました。



音楽会

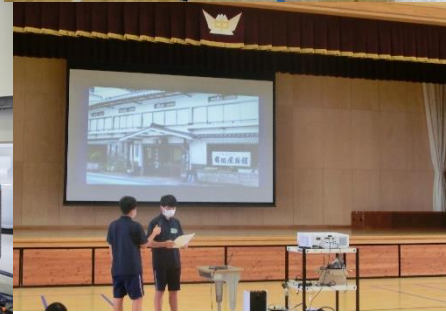
# 各学年の総合的な学習の時間

## 1学年 「戸倉上山田・千曲市のお宝発見～自分の住む町の魅力を知る～」



1年生では、地元である戸倉上山田、千曲市の魅力を探求する活動を行っています。

テーマは「観光・温泉」「観光・歴史」「住みやすいまちづくり」「図書館」「文化財考古学」「モノづくり」「自然科学」「特産品・農業」「スポーツ・人」等様々です。8/30には、実際に出かけたり、詳しい地域の方をお呼びしてお話を聞いたりしました。その後、追究した問いについてまとめ学年で発表会をしました。



## 2学年「地域と未来をつなぐゼミ」「職場体験学習」



2年生は、「地域と未来をつなぐゼミ」の活動に参加し、8つの講座に分かれて、様々なモノづくりの体験をしました。食品加工の講座では、3種類の手作りソーセージを作りました。また、フラワー装飾の講座では、たくさんの花を準備していただき、フラワーアレンジメント制作を楽しみました。



また、4年ぶりに実施した職場体験学習では、自分の興味のある職場に2日間体験学習をさせていただきました。それぞれの仕事について学ぶとともに、その仕事に関わる方とのやりとりも貴重な体験となりました。

## 3学年「福祉体験、救急救命法の学習など」



3年生は福祉体験で「車いす」や「シッティングバレー」等の体験を行いました。車いすの介助の体験では、ちょっとした段差でも車いすで踏み越えることは大変だと感じました。また、「車いすバスケットボール」では、実際にゲームをしましたが、初めはなかなか思うように進むことができませんでしたが、慣れてくると楽しくゲームをすることができました。

また、千曲消防署の方々に、救急救命法を指導していただきました。実際にダミーを使って心臓マッサージを試してみました。

